

# 65 歳問題！ 制度移行

## 障害制度と介護保険制度の連携について

～令和5年度第3回 それぞれの制度を体感しよう～

【アドバイザー】西宮市生活支援課 和泉係長、西宮市高齢介護課 谷口係長

令和6年 1月26日(金) 13時30分～16時

会場 西宮市民会館 1階 101号ホール



### 【当日の様子】

第3回目の今回は37名の方々

(障害分野、介護分野の専門職をはじめ、事業所の管理者や福祉用具専門員など)のご参加がありました。

【内容】

1部「制度説明 再度キホンの確認」

2部「とある連携場面」の寸劇

☆64歳の頸髄損傷の方(61歳の時に交通事故で受傷)が65歳を迎える事例

「西宮都夫さんは64歳です。家は建売で購入した一戸建てです。今は一人で暮らしています。

61歳の時に事故で頸髄損傷を受け首から下が麻痺しています。

今日は介護保険の説明のために、中山さんの知り合いの地域包括支援センターの田中さんと  
相談支援専門員の中山さんが訪問しています。……」

3部 寸劇から考えてみよう(グループワーク)

グループワークでは、寸劇を通じて…

- ①障害からはどのような情報を引き継いで行けば良いか？
- ②介護はどのような情報を得てプランにして行けば良いか？
- ③双方がどのように連携して行けば良いか？

などについて参加者で意見交換をしていただきました。

今回も半分くらいが初参加の方々でした。

このような研修機会を通じて障害分野と介護分野の専門職どうしの顔の見える関係作りの一助になれば幸いです。

ご参加いただきましたみなさま、ありがとうございました。

来年度も継続開催できるよう調整していきたいと考えておりますので、引き続きよろしく願いいたします。



共催：障害者総合相談支援センターにしのみや、西宮市瓦木在宅療養相談支援センター